

第47回女性代表者会議開催



長尾ゆりさん(全労連女性部部長) 「女性部って必要？」 ～女性部運動の歴史と活動に学ぼう～

長尾さんは、冒頭に「毎日、年々忙しくなる職場。共同が広がるのはいいけど・・・どんどん忙しくなるばかり。人がいない、次の役員の引き受け手はいるの？という思いがある中、女性部は必要？」を参加者に問いかけました。

その中で、日本にはまだ労働組合が誕生していない1886年6月山梨県甲府市の雨宮製紙工場で、長時間労働を強いられていた女性労働者が、団結・連帯をしてストライキを執行したことを含め、女性労働者のたたかい、組合女性部の歴史と、この間の運動の成果を紹介しました。また、全労連女性部の実態調査・国際的に視た日本のジェンダー格差指数・男女の賃金格差に実態を報告。核兵器禁止条約交渉会議の議長や、国連担当は女性であることを紹介。「自由で平等な討論により歴史は切り拓かれる」とし、労働者の権利を土台から崩そうとする現政権に対して、「本当の働き方改革」をすすめるには、女性の視点が求められ、今こそ女性部の良さを生かし、女性部の役割が大きいとし、「集まれば元気！語り合えば勇気！それが女性部」と話されました。

2017年10月7日～8日(土、日)静岡県熱海・ハートピア熱海にて、「第47回女性代表者会議」を開催しました。会議には、6全国組合32県から56名の参加で2017年方針を確認し、新年度女性委員を選出・承認しました。
4本の特別報告と、20本の発言要旨をご紹介します。



特別報告①群馬「休眠女性部 活動再開の取り組みの報告」

昨年の女代で「ショック」を受け、9年ぶりに女性部を再開。奇数月の第4(土)にファミレスを活用したランチ会議を実施中。「しゃべれば・食べれば・学び・行動すれば」を合言葉に、あせらず続けることが大事。



特別報告②岡山「平和のとらえ方」

岡山では、この間、広島等を中心に平和ツアーを実施している。子どもたちからも、「平和の国を守りたいです」という感想が出ている。戦争にならないためには、学習を続け、広げる事、言い続けることが大事。



特別報告③全医労「院内保育所に関する取り組み」

院内保育所の委託先変更をきっかけに、組合は院内保育所の存続と充実および保育所職員の雇用継続求め、機構本部との交渉を実施。この間、組合員が130人を超え、保育所・保護者・支部の共同が広がっている。



特別報告④徳厚労「組合ってすばらしい」

組合活動に参加する前と後で、自分自身が変わった。権利を含めて、先輩組合員のおかげで今があることを知る。現場の要求を練り上げ、夜勤体制が2から3人へ増となった。

<学習会と会議をセット>

- ・全労災：笹山直人氏 医療現場の実態について・レディースブックの活用。
- ・九州地方協：成実暁子弁護士 女性の働き方について学習。2019年に九州女性代表者会議予定
- ・福岡：看護&女性委員会で運営。この1年、過労死、夜勤、働き方ビジョンについて学習。合同会議で、男性看護師が「母性保護」についての大切さを知る。12月に「女性の権利・ハラスメント等」学習会予定。

<続けることが大事>

- ・広島：県要請について、県に対する考えが変わってきた。「肩を張らずに懇談ができる」法的アドバイスをもらえる、気軽に教えてもらう。回を重ねることが大事です！
- ・山形：東北地方協活動報告（2年に1回）DVD学習、産科医師の女医学習会。（女性特有の疾患）若い人は、経営者からもらっている権利だと思っているが、協定を含め、権利は行使しないとなくなる。

<見学ツアー>

- ・新潟：バスの中で定期大会を実施し、被災地見学（南相馬市市議の復興支援活動報告）
- ・長野：4年ぶりに青年・女性部の交流会を復活。靖国神社ツアー（東京医労連OBガイド）学習は大事！

<女性ならではの企画>

- ・東海北陸：毎年必ず1泊2日 学習、共済実施。参加者少ないが継続は力 半日：学習、リース作りで楽しい企画やっている。愛知県では、執行委員会議で女性枠を作ってもらい役員になった。次世代作り、バトンタッチが出来ればと思う。
- ・秋田県医労連：7月末の会議では、落語家に来て頂いた。しゃべり場では、思っていることを吐き出そうと現場の状況を出し合った。NSウェブでは、他県で看護師を目指す身内の方に、夜勤改善署名や医労連について粘り強く説明した結果署名に協力をしてくれた。産別の凄さを実感した。11月の定期大会では、「子どもの貧困について」講演を企画している。
- ・石川民医労：はたらく、母親、国際3つの集会を主として、県看護をよくするかいにも結集中。予算が限られているが、母親大会19名が参加。女性や家族も楽しめる企画を考案し、フルーツ狩りには数百名単位で申し込みがある。
- ・福島：映画「母」観賞や法律学習会を行っている。女性の視点で、平和に関するグッズ作成予定。

<組織拡大>

- ・宮城県医労連：女性委員会の強化のためには、男性も支えないといけないと思い参加した。元専従が、労働組合を10月中旬に結成予定。
- ・全JCHO：共済を武器に組合員を増やそう！1人でも残っても頑張ろうと6人から10月現在まで4倍化に成功。引き続き頑張ります。
- ・静岡医労連：介護職現場は組合がない。静岡では総がかりで組合を作るということで活動している。

<決意表明>

- ・鳥取：人員不足のなか支援を受けながら夜勤に従事しているが、離職が出たり、アンケート結果に離職願望あり。このアンケートを秋闘にいかします！組織拡大につなげたい！

<母親大会>

- ・岩手医労連：10,700人参加。（初めて知事、市長が挨拶にきた）県病院の縮小等があり、「全単組から参加しよう」の目標達成にはならなかったが、いろんな形で参加。被災地復興は何年経っても終わっていない。「戦争はダメ」女性部の大会でも伝えていきたい。女性労働学校や、学習母親運動、デコパージュ、フラダンス等、「頭も体も動かそう！」と様々な工夫を行っている。

<サンバインオータム in 富山>

富山県医労連：サンバインオータムを富山で開催。保育体制を万全にし、成功の為に奮闘した。富山では、学習会と一緒にクリスマスリース作りや、会議終了後に署名活動を行っている。

<署名活動>

- ・神奈川：看護闘争委員会&女性部 委員会第2月曜日に開催。署名活動頑張ろう。自治体行動。署名100筆チャレンジャー クオカード進呈。今年は50筆コース、100筆コースにした。会の前後には必ず署名、署名デビュー者に声をかけよう！初めて参加する人を募ろう！とがんばっている。
- ・北海道：街頭に積極的に出て署名活動を行っている。（夜勤改善・KKR 過労死裁判）

<政治を変えよう>

- ・東京医労連：チーム美魔女活動報告。労働条件を改善させるのは政治が変わること。「忘れずに投票に行きましょう。」



「女性部の活動を支えます」
宮城県医労連小玉書記長



「女性部って必要？～女性部運動の歴史と活動に学ぼう」
長尾ゆり全労連女性部部長の講演に真剣に耳を傾ける参加者



「女性の働き方を変えよう！」
お嫁サンバの替え歌に合わせて踊る運営委員



「学んで、語って、食べて、笑いも絶えません！」



今年度も、「しゃべれば！食べれば！学び・行動すれば！」を合言葉に共にごがんばりましょう！元気になる発言、ありがとうございました。



「輝いて良い看護 良い介護がしたいから」各人、思いを記入しました